

How to Setup an Internal Anti Virus Database Mirror

アンチウィルス・データベース ミラーサーバの構築方法

アルテック・エーディエス株式会社
e-セキュリティ事業部

目次:

- 1. 概要 3
- 2. ミラーリング 3
 - 2.1 アンチウイルス・データベース・アップデート用サーバのアドレス 3
 - 2.2 wget のインストール 3
 - 2.3 ミラーリングの自動化 4
 - 2.3.1 Linux 4
 - 2.3.2 Windows 4
- 3. サーバのインストール/設定 5
 - 3.1 例 : Apache - Linux 5
 - 3.2 例 : Tiny FTP Daemon - Windows 5
- 4. mGuard のセットアップ 6
- 参考例 7

1. 概要

mGuard のアンチウイルス機能はインターネット環境において、最新のアンチウイルス・データファイルを自動的に開発元（Innominate）のアンチウイルス・データベース・アップデート用サーバにアクセスして取得します。

インターネットにアクセスできない環境で最新のアンチウイルス・データファイルを取得するには、内部にアンチウイルス・データベース・アップデート用サーバのミラーサーバを構築して、mGuard から内部のミラーサーバへアクセスを行ない最新のデータファイルを取得できるようにします。

このドキュメントでは、ミラーサーバの構築について、説明をします。

ミラーサーバは、Windows 又は UNIX 上に設定することができます。

ミラーサーバのシステム要件

1. インターネットにアクセスが出来る環境であること。
2. HTTP or FTP サーバをインストール
3. HDD の空き容量：10MB 以上必要です。

2. ミラーリング

アンチウイルス・データベースは毎日の更新が必要です。

（常に最新のデータファイルが必要です）

この為に、開発元（Innominate）のアンチウイルス・データベース・アップデート用サーバからアンチウイルス・データベースをダウンロードする必要があります。

2.1 アンチウイルス・データベース・アップデート用サーバのアドレス

FTP 通信を使用して、以下の URL からアンチウイルス・データベースをダウンロードすることができます。

`ftp://downloads.kav.innominate.com/bases/arm_set`

2.2 wget のインストール

Wget を使用して、アンチウイルス・データベースを容易にミラーサーバに取り込むことができます。

以下の URL にて、wget をダウンロードしてください。（Windows / UNIX 共に利用可能です）

<http://users.ugent.be/~bpuype/wget/>

アンチウイルス・データベースのフォルダを作成して、そのフォルダ内に wget を保存してください。

（例： C¥antivirus¥arm_set）

以下のコマンドをコマンドプロンプトから実行をします。実行のディレクトリは wget を保存したディレクトリで行ないます。アンチウイルス・データベースをカレントディレクトリ内にダウンロードができます。

例： C¥antivirus¥arm_set>wget -m -nH -nd ftp://downloads.kav.innominate.com/bases/arm_set

2.3 ミラーリングの自動化

ミラーサーバから開発元(Innominate) のアンチウイルス・データベース・アップデート用サーバへ自動的にアンチウイルス・データベースを取得させる為に自動化の設定をします。

2.3.1 Linux

以下のコマンドを参考にしてください。

```
30 3 * * * cd /var/www/avp/ && /usr/bin/wget -m -nH -nd ¥  
ftp://downloads.kav.innominate.com/bases/arm/
```

さらに詳細な情報については、「[cron](#)」の関連ページを参考にしてください。

2.3.2 Windows

Windows のコントロール・パネル -> タスクを利用することで、自動化ができます。

- (1) コントロール・パネルからタスクを起動させます。
- (2) 「スケジュールされたタスクの追加」を選択します。
- (3) タスクウィザードが起動します。
- (4) 実行するプログラムの選択にて、アンチウイルス・データベース内の「`wget.exe`」を選択します。
- (5) タスクの名前と実行スケジュールを決めます。
- (6) 次にユーザ名とパスワード(任意)を入力します。
- (7) 以下のメッセージにチェックをつけます。

「完了」をクリックしたときの詳細プロパティを開く

以下の例のように、実行ファイル名の後ろにコマンドラインを入力します。

```
C:¥antivirus¥arm_set¥wget.exe /wget -m -nd ftp://downloads.kav.innominate.com/bases/arm_set
```

スケジュールによって、アンチウイルス・データベースが更新されます。

3. サーバのインストール/設定

ミラーサーバに HTTP サーバ 又は FTP サーバをインストールします。

mGuard からアクセスできるようにアンチウイルス・データベースのディレクトリを指定して HTTP サーバ又は FTP サーバをセットアップします。

3.1 例 : Apache - Linux

Apache の HTTP サーバを Linux で設定します。

ドキュメントルート・ディレクトリのディレクトリを作成する必要があり、HTTP サーバのファイルにアクセスできるようにディレクトリを作成します。

例: /var/www/ がドキュメント・ルートの場合、以下のコマンドでディレクトリを作成します

```
mkdir /var/www/avp
chown avpuser /var/www/avp
chmod 755 /var/www/avp
```

3.2 例 : Tiny FTP Daemon - Windows

以下の URL で、Tiny FTP Daemon をダウンロードします。(フリーウェア)

http://hp.vector.co.jp/authors/VA002682/tftpd_frame.htm

インストール後に設定をします。

○Tiny FTP Daemon 起動

ユーザ選定から「 anonymous 」を選択して、編集をします。

ホームディレクトリでは、アンチウイルス・データベースのフォルダを指定します。

例 : C:¥antivirus¥arm_set¥

4. mGuard のセットアップ

mGuard をセットアップする前に、ミラーサーバが正しく稼動しているのを確認してください。
確認方法は、ミラーサーバに対して HTTP サーバの場合は、WEB ブラウザでアクセスを確認します。
また、FTP サーバの場合は、FTP クライアントで確認してください。

mGuard のセットアップは、mGuard メニュー → アンチウイルス → データバンク アップデート
の AVP データベース・アップデート・サーバ・リスト でサーバのアドレス設定を行ないます。

ここでは、以下の例で mGuard のセットアップを説明します。

ミラーサーバ : IP アドレス 192.168.1.15

```
/// Apache - Linux //////////////////////////////////
```

Protocol	Server Address	Login	Password
http://	192.168.1.15/avp	anonymous	anonymous

```
/// Tiny FTP Daemon - Windows //////////////////////////////////
```

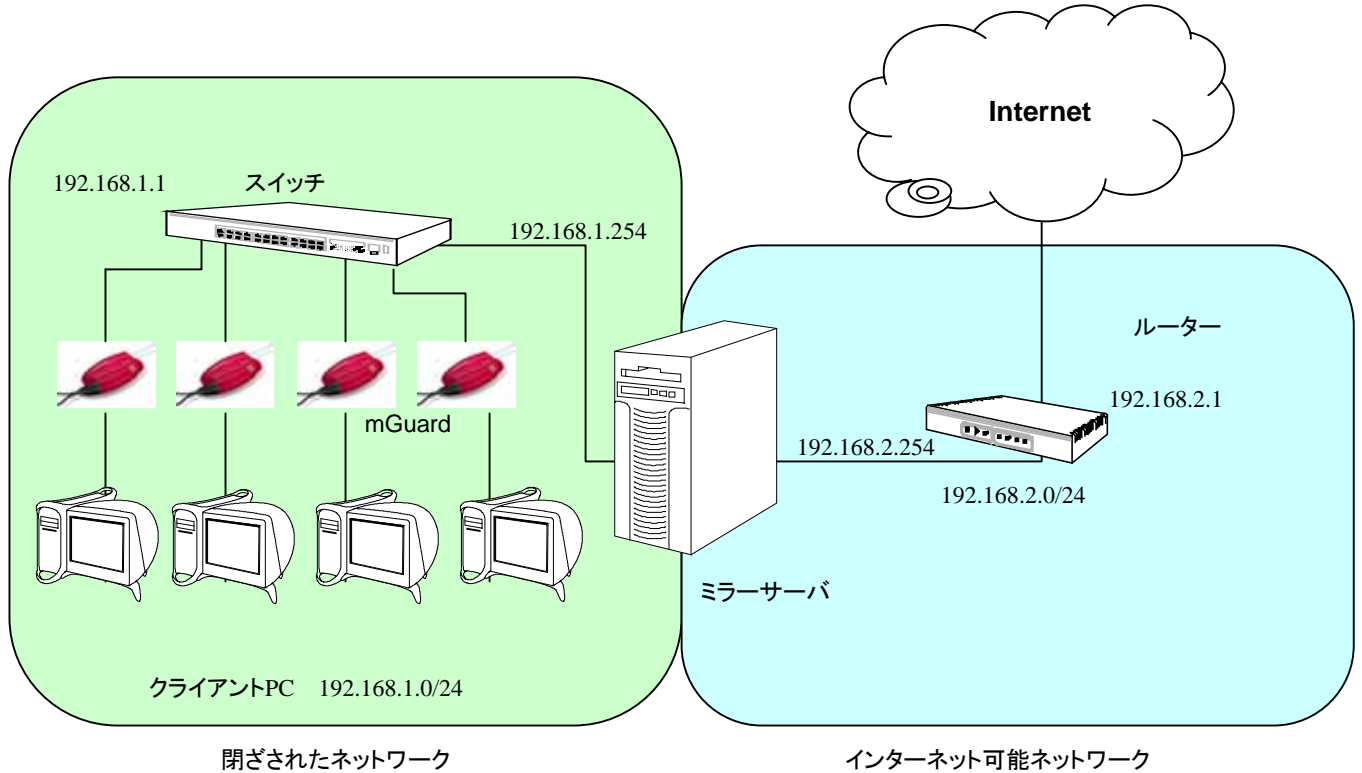
Protocol	Server Address	Login	Password
ftp://	192.168.1.15/	anonymous	anonymous

どちらの場合も、ログイン及びパスワードの変更は必要ありません。

以上でミラーサーバの構築及び設定は完了です。

参考例

ミラーサーバを使用した場合のネットワーク構成



インターネット可能ネットワークを利用して、ミラーサーバへ開発元のアンチウイルス・データベース・サーバからアンチウイルス・データベースをダウンロードします。

ダウンロードしたミラーサーバのデータベースを閉ざされたネットワーク内の mGuard がアンチウイルスのアップデートで使します。

更新履歴 :

Rev.A 2006/03/17 新規作成 Initial Release